

クロストーク

中島京子さん（作家）VS 田崎基さん（ジャーナリスト）

《どうなるの？表現の自由と憲法》

日時: 2017年12月18日（月）18:30-21:00（開場 18:15）

会場: 東京藝術大学上野キャンパス音楽学部5号館4階5-401教室

参加費無料（申し込み不要）

中島京子（なかじま・きょうこ）

1964年生まれ。2003年に『FUTON』でデビュー。2010年『小さいおうち』で直木賞受賞。2014年『妻が椎茸だったころ』で泉鏡花文学賞受賞。2015年『かたづの!』で河合隼雄物語賞、歴史時代作家クラブ作品賞、柴田錬三郎賞を受賞。『長いお別れ』で中央公論文芸賞、2016年、日本医療小説大賞を受賞。最新刊は『ゴースト』（朝日新聞出版）。

田崎基（たさき・もとい）

1978年生まれ。神奈川新聞編集局デジタル編集部記者。2005年、日刊建設工業新聞入社、編集部記者を経て、2008年神奈川新聞入社。経済部、報道部などを経て、2015年10月から現職。共著に、『時代の正体』（現代思潮新社）、『時代の正体 Vol.2』（同）、『検証 日本の右傾化』（筑摩書房）。



最近何だか社会の空気、おかしくないですか？ 言論・表現の危機が叫ばれるようになり久しい今の日本。芸術家は、市民は、これとどう向き合えばいいのでしょうか？ そもそも日本国憲法はどうして作られたのか？ 憲法改正論議の問題はどこにあるのか？

毎月1回、多彩なアーティストや言論人、第一線の研究者らをゲストに迎えておこなう《芸術と憲法を考える連続講座》がスタートします。皆さんと一緒に考えてみませんか？



主催: 東京藝術大学音楽学部楽理科・共催: 自由と平和のための東京藝術大学有志の会

お問い合わせ: kenpou.geidai@gmail.com（川嶋）